

令和5年度

令和6年1月10日 第9号
(紙媒体配布・スクリーン配信)



梧中だより

荒川区立第五中学校 学校だより

3学期始業式より

校長 豊田 明

みなさん、明けましておめでとうございます。いよいよ三学期が始まりました。それぞれの学年において、まとめの時期となります。三年生にとっては中学校最後の学期です。1・2年生も進級を前にしての準備期間ともいえる学期として、悔いの残らない充実した学校生活を送ってほしいと思います。そのために年年初めの抱負や目標をしっかりと立ててください。人は夢や希望・目標をもつことによって、より充実した人生を送ることができます。そして、目標の実現に向けて、前向きに努力することができます。

さて、二学期の終業式では、2023年の重大ニュースについてお話をさせていただきました。その中に日本中を大いに沸かせた二人の方の名をあげました。野球の大谷翔平選手と将棋ですべてのタイトルを獲得した藤井聡太棋士です。特に昨年末は大谷翔平のドジャースへの移籍が巨額の移籍金と共に大きな話題となりました。ちょっと信じられない金額に誰もが驚きました。ただ大谷選手は移籍金が一番高いから選択したのではなく、メジャーリーグで優勝するための近道であると思ったから、ドジャースを選びました。勝負の世界ですから当然のことであると私自身も感じますが、さらなる目標に向けて取り組む大谷選手の今年の活躍も目が離せないと感じているところです。

もう一方の藤井聡太棋士についてですが、全てのタイトルを取ったことが大きなニュースとなりました。藤井聡太さんは史上最年少の14歳2ヶ月でプロ入りを果たして以来、数々の記録と共に、圧倒的な成績を残し続け、昨年史上最年少20歳10か月で名人に、そしてついには史上初となる将棋のタイトル八冠独占を果たしました。この先どこまで勝ち続けていくのか興味は尽きません。その藤井聡太八冠の師匠である杉本昌隆八段が書いた本「藤井聡太はこう考える」をこの冬休みに読みました。その中で、興味深いことが書かれていたので紹介します。師匠である杉本八段は藤井聡太八冠のことをこの様に例えています。「決して歩みを止めないうさぎ」。誰もが「うさぎと亀」の寓話を知っていると思います。うさぎは競争相手である亀ばかりを見て、大差がついたことに安心してしまい途中で寝てしまいます。そして、最終的には競争に負けてしまいます。一方、亀はゴールだけを見てゆっくりと進み続けます。相手を意識するのではなく、何を目指しているのかを見ることが、何よりも重要であることを教えてくれる寓話です。藤井聡太棋士は、対戦相手との勝負以上に将棋という競技を探究して行くこと、棋士になったときから一貫して、勝つことよりも強くなること、“将棋の真理”を追求することを目的にしていると述べています。仕事やスポーツ、あらゆる場面において、勝負の場面があります。その時は、目の前の相手を意識するよりも、その勝負を通過点として、「最終的に目指したい目的は何かを、一度考えてみてはいかがでしょう」とも述べています。確かに「勝ち負け」は生きていく中でたくさんあります。勝つ負けるは相手があることです。しかし、自分の夢や叶えたい目標に対しては他者の存在は二の次になるのではないのでしょうか。八冠達成後のインタビューにおいて藤井八冠は、「自分にはまだ伸びしろがある」「もっともっと良い将棋が打ちたい」と述べていました。

私たちは藤井聡太さんのように「歩みを止めないさぎ」にはなれないかもしれませんが、「歩みを止めない自分」であることを目指して今年も頑張っていきたいものです。「継続は力なり」という言葉があります。歩みを止めなければ、小さな努力の積み重ねはやがて大きな成果となって現れるはずです。目標に向けて努力するためには、「良い習慣」を身につけることも必要です。「規律ある生活習慣」「気持ちの良いあいさつの習慣」「家庭学習の習慣」などです。良い習慣は目標に向かって前向きに取り組むための土台となります。2024年が素晴らしい年になるようにそれぞれが目標を定めて、歩みを止めないように一步一步しっかりと取り組んでいきましょう。今年も皆さんの元気に取り組む続ける姿、輝き続ける姿を見られることを楽しみにしています。

長くなりますが、最後に今年には元日に大きな地震がありました。私の母は能登半島の輪島出身です。たくさんの親戚が被災し、避難所生活を送っています。テレビによりかなりの被害を受けている状況がわかり始めていますが、まだ行方不明の方々もたくさんいるようで、救助作業が続けられています。亡くなられた方のご冥福を祈りたいと思います。これから続くであろう長い避難所での生活も心配です。今後、皆さんにお伝えすることがあるかもしれませんが、やはり地震は身近で、いつ起こるか分からないということ、想定以上の被害が出ることを再認識しました。みなさんも色々感じるがあると思いますが、ここでもう一度、それぞれが防災について考え、再点検する必要があると感じます。

それではみなさん、今年も良い学校生活を送れるように、みんなで頑張っていきましょう。話を終わります。

〇3年生の面接練習を実施しました

三者面談の期間に合わせて、高校入試における面接練習を兼ねて校長と副校長とで面接を実施しました。入試に向けての練習ではありましたが、一人ひとりとじっくり話すことができたことはとても有意義な貴重な機会となりました。どの生徒も緊張しながらの入室でしたが、志望動機や入学後に頑張りたいこと、中学校で学んだことなどの質問に対して、素直に元氣よく受け答えをする姿に何度も感心しました。どの生徒からも、自分の将来に向けて前向きに取り組もうとする強い意欲を感じることができました。緊張しながらも一生懸命に誠実に受け答えをする生徒の姿は、とても清々しく、面接をする側にとっても、幸せな時間となりました。入試本番では、自信をもって堂々と自分の考えを述べてほしいです。また、残り少ない中学校生活も最後まで誠実に取り組むことを期待しています。

〇1月の主な行事予定

9日(火) 第3学期始業式	19日(金) 区連合展示会始(22日まで)
10日(水) 校内書初め展始	会場:町屋文化センター
11日(木) 学習発表会【展示の部】始 復習テスト(3年)	英語検定
13日(土) 授業公開日 ※5校時授業・給食有り 学習発表会【展示の部】終 書き初め展保護者鑑賞日	22日(月) 安全指導
15日(月) 振替休業日	23日(火) 避難訓練
16日(火) 各種委員会(45分時程)	24日(水) 校内研修会
17日(水) 荒教研(45分授業、教員一斉研修日)	26日(金) 校外学習(2年)
18日(木) 中央議会	都立推薦入試(一日目)
	27日(土) 都立推薦入試(二日目)
	29日(月) 生徒会朝礼
	31日(水) 校内書初め展終・職員会議

※校内書き初め展の保護者鑑賞日は13日(土)となります。